

学校関係者委員会報告書

●学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 平成27年5月20日 18時30分～20時05分

名古屋ブライダルビューティー専門学校 2F

●学校関係者委員会報告

学校関係者評価委員によるアンケート結果

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	3.6	(6) 教育環境	3.2
(2) 学校運営	3.6	(7) 学生の受入れ募集	3.8
(3) 教育活動	3	(8) 財務	3.6
(4) 学修成果	2.2	(9) 法令等の遵守	3.4
(5) 学生支援	2.6	(10) 社会貢献・地域貢献	1.6

・適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

I 重点目標について

・「過度の非常勤講師依存を脱する」という点で、実行をしていることは評価ができる。今後も継続をしてほしい。

II 各評価項目について

2 学校運営

・学校関係者評価は、外部の意見を学校運営に取り入れるいい機会となる。今後も継続して実施すべきである。

3 教育活動

・資格教育について、企業側は「専門学校で何を学んできたか」を資格取得の部分で確認をする。確実に資格を取得できるよう指導が必要である。

・「着装士検定」、「マナープロトコール検定」が社会で、役に立っている。実践教育、資格教育は、大学生との差別化につながるため、現在のニーズにあった資格を取得必須とする等の策が必要である。

4 学修支援

・基礎データから「退学率・卒業率」が、他校と比較しても悪いので、改善が必要である。退学者が多いことによって、「8財務」の評価にも影響を及ぼしている。

Ex) 対策として特別教室の設置

- ・退学率が高いことへの改善策として、友人、両親と連携したアドバイスが必要である。

Ex)企業では、入社前にマネージャーから両親に対し、仕事に対する理解をしてもらうなどの人事策を実施している。

5 学生支援

- ・教員が入れ替わったことにより、就職指導に不満を感じている。たとえ本年度のような事態となっても、就職指導レベルを落とさないような対策が必要である。

- ・キャリア教育の中で、就職後の「勤務時間」、「給与」といったところではなく、美容業界の大原則である「お客様に喜びを感じさせる」というところを専門学校で伝えてほしい。仕事に「やりがい」を感じることができなければ、この業界での仕事は続かない。

- ・企業面接時に、少し元気がないと感じる学生が見受けられた。面接では、そういったところも見られているので、就職指導の中で指導を行うべきである。

6 教育環境

- ・エステ分野での学生アルバイトの受け入れは、お客様の肌に触れる関係上困難ではあるが、夏期休業期間の短期インターンシップの受け入れは、可能である。積極的に利用し、職業意識の向上に努めてほしい。

- ・外部のコンクールなどを活用してほしい。学校の中だけで学ぶのではなく、外部の環境に慣れることにより、成長ができ、将来像を描きやすくなる。

- ・産学連携のイベントへ参加すべきである。

Ex)結婚式場、サロン、ドレスショップへのモデル役、スタッフ役など。

7 学生の募集と受入れ

- ・入学生を増加させる必要がある。

Ex)体験入学で在学生の生の声、卒業生を活用した職場での話等、高校生に近い目線での体験談が心に響く。

10 社会貢献・地域貢献

- ・夏期休業期間を利用し、ボランティア活動をさせるべきである。ボランティアにより培われた実践および人との触れ合い、おもてなしの気持ちが社会で役に立つ。

Ex)老人ホームでのエステサービス、ブライダルファッションショー等

以上